

中2

単元名 日本の地域的特色と地域区分

配当時間 11時間

単元の目標

- (1) 日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の各項目に関する特色とそれに基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解するとともに、日本全体の主題図やグラフなどを、地域の共通点や差異、分布の傾向性などに着目して読み取ることができる。
- (2) 日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の各項目による地域区分を、地域の共通点や差異、分布の傾向性などに着目し、比較したり関連付けたりして考察し、その結果を表現することができる。
- (3) 日本の自然環境、人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の各項目に関する特色と、各項目による地域区分に関心をもち、日本の地域的特色を意欲的に追究するとともに、各項目に関わる課題を解決しようとする。

標準的な展開例

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 それぞれの地方について、知っていることを発表し合い学習計画を立てる。</p> <p>★日本の地域的特色をつかむために、どのような視点から調べることができるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○7 地方区分の名前を確認する。 ○日本の地域的特色をつかむための視点を考え、まとめる。 「自然環境」 「人口」 「自然・エネルギーと産業」 「交通・通信」 ○グループで複数の主題図から、日本の地域的特色を読み取る。 ○単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。 ●日本には、どのような特色があり、それらの特色からどのように地域区分できるのだろう。 <p>2 地形からみた日本の地域的特色と地域区分について調べる。</p> <p>★日本には、地域によって地形にどのような特色がみられるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日本の山地や、山と川がつくる多様な地形について調べる。 ○変化に富む海岸について調べる。 ○地形からみた日本の地域区分について調べる。 ○地形の特色を白地図上に表し、地域区分を考える。 <p>3 気候からみた日本の地域的特色と地域区分について調べる。</p> <p>★日本には、地域によって気候にどのような特色がみられるのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○四季の変化がはっきりした気候について調べる。 ○降水量の多い気候について調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 144～145 ・7 地方区分と自然環境、人口、産業の特色に着目して追究させる。 (位置や分布、地域) ・世界地理で学習した視点を想起させる。 ・教 P. 145 を参考にさせ、自然環境と人口などの関係性を見つけさせる。 【評】日本の地域的特色について知っていることを発表し合い、それを基に学びたいことを考える活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・教 P. 146～147 ・険しい山地が多く、複雑な地形がみられることに着目して追究させる。(位置や分布) ・平野の近くには川があることに着目して追究させる。 ・砂丘も海岸の一つであることに気付かせる。 ・教 P. 146 の資料 1 を活用して、フォッサマグナの東側と西側では、山地の方向が違っていることに気付かせる。 【評】日本の地形の特色に応じた地域区分を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・教 P. 148～149 ・主に温帯気候の日本の中でも、地域によって気温や降水量が異なることに着目して追究させる。(位置や分布) ・季節風が日本の気候に与える影響について押さえる。 ・地図帳 P. 147～148 を活用して、日本海側

<p>○気候から見た日本の地域区分について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本海側の気候に含まれる新潟は、夏よりも冬の降水量が多い。 ・南西諸島の気候に含まれる名瀬は、一年を通して比較的气温が高い。 <p>○気候の特色を白地図上に表し、地域区分を考える。</p> <p>4 自然災害からみた日本の地域的特色と地域区分について調べる。</p> <p>★日本では、地域によって起こる自然災害にどのような違いがあるのだろうか。</p> <p>○地震や火山による災害について調べる。</p> <p>○さまざまな気象災害について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・洪水 ・土石流 ・高潮 <p>○自然災害からみた日本の地域区分について調べる。</p> <p>○自然災害の特色を白地図上に表し、地域区分を考える。</p> <p>5 災害への備えについて調べる。</p> <p>★自然災害から地域や人々の生活を守るために、どのような取組ができるだろう。</p> <p>○防災・減災への工夫について調べる。</p> <p>○どのように災害と向き合うかについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で避難訓練があるときはできる限り参加したり、自分たちが生活している地域で自然災害の被害が起きやすい場所を調べたりして、防災対策をしていきたい。 <p>6 せまりくる大災害に備えて、ハザードマップの活用方法を調べる。</p> <p>★ハザードマップを活用し、自分自身の避難経路を考えよう。</p> <p>○地形図から、想定される浸水の深さが場所によって異なる理由を考える。</p> <p>○教科書の資料を活用して、浸水すると想定されている深さを読み取り、安全に避難するルートを考える。</p> <p>○ハザードマップの想定を上回る状況の場合は、避難所や避難ルートをどのようにすればよいかを考える。</p>	<p>の気候の雨温図において冬の降水量が多いのは雪によるものであることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本アルプスを越えて太平洋側に達するところには水分を失っていることから、愛知県の冬は晴れている日が多いことに気付かせる。 <p>【評】日本の各地方の雨温図の特色について、気温の高低や推移、降水量の多少や推移に着目して読み取る活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 150～151 <ul style="list-style-type: none"> ・地域によって、自然災害の起こりやすさが異なることに着目して追究させる。 (人と自然との関わり) ・阪神・淡路大震災や東日本大震災について押さえる。 ・教 P. 150 の資料 3 を活用して、日本の火山の多さや位置をつかませる。 ・地図帳 P. 149～150 <ul style="list-style-type: none"> ・気象災害の種類によって、起こりやすさに地域差があることを気付かせる。 <p>【評】日本の自然災害の特色に応じた地域区分を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 152～153 ・自然災害が起こりやすい日本で、さまざまな防災や減災の取組が行われていることに着目して追究させる。 (人と自然との関わり) ・愛知県や自分が住んでいる市町のハザードマップを確認させるとよい。 <p>【評】身近な地域における減災の取組の意味や意義を踏まえて、防災や減災に関わる諸活動にどのように参加できるかを考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 154～155 <ul style="list-style-type: none"> ・日本各地で災害のリスクがあることに気付かせ、自分事として捉えさせる。 ・教 P. 155 の「スキルUP」を活用して、ハザードマップの活用の仕方を調べさせる。 ・ハザードマップの読み取りに際しては、対象地域だけでなくその周辺地域の様子を把握しなければならないことを押さえる。 ・例として、2019 年 10 月の台風 19 号による豪雨では神奈川県箱根町で 24 時間に 942.5 mm の降雨があったことなど、想定を
---	--

<p>○ 本時の学習内容を活用して、身近な地域のハザードマップを使って、自宅や学校から周辺の避難所までの避難ルートを考える。</p> <p>7 人口からみた日本の地域的特色と地域区分について調べる。</p> <p>★日本には、地域によって人口構成や人口分布にどのような特色がみられるのだろう。</p> <p>○ 人口減少と少子高齢化について調べる。</p> <p>○ 人口分布のかたよりと課題について調べる。</p> <p>○ 人口からみた日本の地域区分について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関東地方から九州北部にかけて、都市が発達しているところは人口が多く、高齢者の割合が比較的低い。一方で北海道、東北、北陸、中央高地、山陰・南四国、九州南部は人口が少なく、高齢者の割合が高い。 <p>○ 人口の特色を白地図上に表し、地域区分を考える。</p> <p>8 資源・エネルギーからみた日本の地域的特色と地域区分について調べる。</p> <p>★日本では、資源やエネルギーをどのように確保しているのだろう。</p> <p>○ 鉱産資源を外国に依存する日本について調べる。</p> <p>○ 資源を確保するための取組について調べる。</p> <p>○ 環境問題への取組について調べる。</p> <p>○ 資源・エネルギーの特色を白地図上に表し、地域区分を考える。</p> <p>9 産業からみた日本の地域的特色と地域区分について調べる。</p> <p>★日本には、地域によって産業にどのような特色がみられるのだろう。</p> <p>○ 日本の農業について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近郊農業 ・園芸農業 ・酪農 ・畜産 <p>○ 日本の第2次産業について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太平洋ベルト <p>○ 日本の第3次産業について調べる。</p> <p>○ 産業からみた日本の地域区分について調べる。</p> <p>○ 産業の特色を白地図上に表し、地域区分を考える。</p> <p>10 交通・通信からみた日本の地域的特色と地域区分について</p>	<p>上回る状況があり得ることを押さえる。</p> <p>【評】身近な地域のハザードマップを活用して自分の避難経路を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 156～157</p> <p>・地域によって人口分布に違いがあり、過密・過疎が問題となっていることに着目して追究させる。(位置や分布)</p> <p>・教 P. 157 の「スキルUP」を活用して、人口ピラミッドの読み取り方を押さえる。</p> <p>・教 P. 156～157 の資料1、3、5を活用して、人口密度が高い地域と低い地域の特色に気付かせる。</p> <p>【評】資料から人口密度が高い地域と低い地域の特色とその理由を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 158～159</p> <p>・日本は鉱産資源に乏しく、外国に多くを依存していることに着目して追究させる。(位置や分布)</p> <p>・教 P. 158 の資料2、3から、日本は生活や産業を支える資源の多くを輸入に頼っていることに気付かせる。</p> <p>・再生可能エネルギーは、開発が進められているが、エネルギー供給量に占める割合はまだ低いことを押さえる。</p> <p>【評】日本の資源・エネルギーの特色に応じた地域区分を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教 P. 160～161</p> <p>・なぜ農業、工業、商業・サービス業の分布が異なるのかに着目して追究させる。 (位置や分布)</p> <p>・自然条件、都市の位置によって日本の農業の特色が異なることをつかませる。</p> <p>・輸入の自由化が日本の食料自給率の低さにつながっていることを押さえる。</p> <p>・工業地帯や工業地域について押さえる。</p> <p>・情報化が進んだことにより、インターネットを利用した通信販売が急速に広がったことに気付かせる。</p> <p>【評】日本のそれぞれの産業が、どのような地域で盛んに行われているか調べる活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p> <p>・教 P. 162～165</p>
---	---

<p>調べる。</p> <p>★日本には、地域によって、交通網や通信網にどのような特色がみられるのだろう。</p> <p>○日本と世界を結ぶ交通網について調べる。</p> <p>○国内交通網の発達と生活の変化について調べる。</p> <p>○通信網の発達と生活の変化について調べる。</p> <p>○交通・通信からみた日本の地域区分について調べる。</p> <p>○交通・通信の特色を白地図上に表し、地域区分を考える。</p> <p>11 単元のまとめをして、学習を振り返る。</p> <p>○これまで学習した地域的特色と地域区分について確認する。</p> <p>●日本には、どのような地形の特色があり、それらの特色からどのように地域区分できるのだろう。</p> <p>○これまでの学習を踏まえ、分かったことをクラゲチャートを活用してまとめる。</p> <p>○グループで、各項目の考えをまとめる。</p> <p>○グループの考えを全体で共有し、他の区分との関連性について全体で話し合う。</p> <p>○話し合ったことを基に、単元の学習問題についての自分の考えをまとめる。</p> <p>○日本の地域的特色と地域区分の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通網の発達によって他地域との結び付きが強まったが、一方で人口流出によるバスや鉄道などの廃止や減便などの影響も相まって、過疎化が深刻化していることが分かった。過疎化を解決するためにどのような工夫をしているか調べていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人や物資の移動・輸送方法や、通信技術の発展に着目して追究させる。 <p>(地域どうしのつながり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送方法は、価値、重量、費用、時間で変化していることをつかませる。 ・交通の便がよいところに、工場や物流倉庫が集まる傾向が強いことをつかませる。 ・過疎化が進んでいる地域では、公共交通機関が廃止・減便され、生活が不便になっていることをつかませる。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大がきっかけで、インターネット上で仕事や学習ができる仕組みが急速に整い、生活スタイルに変化があったことに気付かせる。 <p>【評】日本の交通・通信の特色に応じた地域区分を考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教 P. 166～167 ・教 P. 166 の「STEP 1～3」を活用させる。 <ul style="list-style-type: none"> ・地形、気候、自然災害、人口、資源とエネルギー、産業、交通・通信の項目をグループで分担させる。 ・クラゲチャートをタブレット端末等に送り、まとめさせる。 ・これまでの学習で白地図にまとめた地域区分図を活用させる。 ・全体で共有した項目から共通点や関連性、分布の特色に着目して追究させる。 ・教 P. 167 の「STEP 2」を参考にまとめさせる。 <p>【評】これまでの学習内容を踏まえ、日本の地域的特色と地域区分における自己の学習の経過を振り返る活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
---	--

【 備 考 】